

全漁連 反対変わらず

「処理水」放出経産相へ会長表明

西村康稔経産相は14日、東京都内の全国漁業協同組合連合会（全漁連）で坂本雅信会長と面談しました。東京電力福島第1原発から出た「アルプス処理水」の海洋放出計画について、国際原子力機関（IAEA）が国際的な安全基準に合致しているとの包括報告書を先にまとめたことを説明し、放出に理解を求めました。坂本氏は面談後、「（放出に）反対である」とは現時点では変わらない」と述べました。

面談は、冒頭を除き非公開で行われました。坂本氏は面談後に報道各社の取材に応じ「科学的（な）安全性に關しては一定程度理解できた」との認識を

示す一方、「科学的な安全と社会的な安心は違う」と指摘しました。その上で「漁業を安心して継続していきたい。そこで安心を得ていくことができない限り、反対の立場を崩すわけにはいかない」と語りました。

博多祇園山笠に 参加の男性死亡

山笠にひかれ

15日午前5時半ごろ、福岡市博多区冷泉町の路上で、伝統の夏祭り「博多祇園山笠」に参加していた男性が山笠にひかれました。病院に搬送されましたが、約1時間半後に死亡が確認されました。福岡県警博多署が詳しい事故の状況などを調べています。

博多署や消防によると、死亡したのは博多区、秋吉敏興さん

(57)。山笠を担ぐ「かき手」として参加していましたが、転倒し山車の下敷きになったとみられるといいます。山笠は1日に始まりました。15日の最終日は、早朝から櫛田神社をスタートして約5時のコースを山車が駆け抜ける「追い山」が行われていました。